



MANCHESTER Series

MC12-P

Full Size 12" Point Source Asymmetrical Element for Install and Touring

MC12-P-SB

Swivel Bracket for MC12-P Loudspeakers

MC12-P-YB

Yoke Bracket for MC12-P Loudspeakers

SA-35

Stand Adapter for Turbosound Yoke Brackets to 35 mm Speaker Stands

TQ-FB

Fly Bar for TQ and MC12-P Series Loudspeakers

安全指示

- すべての指示を読んで、従ってください。
- 屋外の製品を除き、機器を水から遠ざけてください。
- 乾いた布でのみ清掃してください。
- 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従ってインストールしてください。
- 暖房器、ヒートレジスター、ストーブなどの発熱機器（アンプを含む）の近くには取り付けないでください。
- メーカーが指定したアタッチメント/アクセサリーのみ使用してください。
- 指定されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルのみ使用してください。カート/機器の組み合わせを移動する際には、転倒を防ぐよう注意してください。
- 書棚などの密閉された空間には設置しないでください。
- 裸火のような火の元の近くに置かないでください。
- 動作温度範囲は摂氏 5 度から 45 度（華氏 41 度から 113 度）です。

警告！
組み立ては資格を持った専門の人員のみが行ってください。誤った組み立ては、人身事故や損害を引き起こす可能性があります。ネジやその他のファスナーは含まれていません。取り付け面の材質に適したネジやファスナーを選んでください。ネジやファスナーの保持力が十分であることを確認してください。不明な点がある場合は、地元の専門販売店にお問い合わせください。

警告！
この機器は縦方向の取り付け専用に設計されています。落下する機器による潜在的な怪我を避けるため、スピーカーキャビネットを横方向に取り付けしないでください。スピーカーキャビネットをフローンシステムの一部として運用する場合、不適切かつ不正確な取り付けにより、人々に深刻な健康リスクや死亡をもたらす可能性があります。また、電気、機械、音響の問題について、インストールまたはフローンを行う前に、地元、州、または国の当局によって認定された資格を持つ人員と相談してください。スピーカーキャビネットは、専用の機器とユニットに付属するオリジナル部品およびコンポ

ーネントを使用して、資格を持った認定された人員のみが設置および「フローン」するようにしてください。部品やコンポーネントが欠けている場合は、システムを設定しようとする前にディーラーに連絡してください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2024 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/support にて詳細をご確認ください。

ようこそ

このたびは Turbosound ラウドスピーカー製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。本製品および他商品についての詳しい情報は、ぜひ当社ウェブサイト turbosound.com をご覧ください。

ラウドスピーカーの開梱

ユニットを開梱したら、損傷がないかどうかをチェックしてください。損傷を見つけた場合は、すぐにサプライヤーにご連絡ください。荷受人であるお客様自身に、請求をおこなっていただく必要があります。返送を要する場合に備えて、梱包材はすべて保管しておいてください。

本クイックスタートガイドについて

本クイックスタートガイドでは、MC12-P ラウドスピーカーの詳細および、天吊り設置やポールマウント用の TQ-FB フライバー、MC12-P-YB ヨークブラケット、MC12-P-SB スイベルブラケット、および SA-35 ポールマウントブラケットなど、種々のオプション製品について解説しております。こちらの解説は、上記の部品に関してのみご利用ください。

本クイック スタートガイド記載のとおり、オプションのリギング（天吊り）部品（TQ-FB フライバー、MC12-P-YB ヨークブラケット、MC12-P-SB スイベルブラケット、SA-35 ポールマウントブラケット）は、必ず Turbosound MC12-P ラウドスピーカーと組み合わせてご使用ください。

この解説には、外部の吊り装置の詳細および、安全な吊り上げ手順または設置についての詳細は記載しておりません。

これらの解説および手順を所有なさっていても、それらの使用許可を意味するものではありません。

全般的な安全性について

本製品を含むシステムを天吊り設置して使用する場合、設置方法が間違っていたり、不適切であったりすると、深刻な健康上のリスクや、死亡事故に至る危険があります。そのため設置いただく前に、電気面、機械面、および音響面で考慮すべき事項について、必ず公的、または国家的な資格を有する技術者にご相談ください。

本製品の設置およびセットアップは、必ず有資格の技術者が、お客様のお住まいの地域および国の安全規制を順守しておこなう必要があります。部品・構成部品に不足がある場合は、システムをセットアップする前に販売店にご連絡ください。

本製品の吊り下げ / 固定位置が、意図した用途に適っていることを、アセンブリを取り付ける担当者が責任を持って確認し、作業してください。

また、ぜひセールス パートナーやアプリケーション チームによる、Turbosound のトレーニングをご受講ください。

Turbosound リギング システムへの接続に使用する機器は、適切な定格で、お住まいの地域、その他の安全規制に準拠している必要があります。Turbosound のリギング部品を、他の型式やブランドのラウドスピーカーでは使用しないでください。そのように使用した場合、安全基準に満たない恐れがあり、Music Tribe Global Brands Ltd は、それによって引き起こされた損害や怪我について責任を負いません。付属品の改造、本クイックスタートガイドに記載されていない方法での使用はしないでください。付属のリギング部品は、特定のアセンブリ（組立部品）のための部品で、他のアセンブリの構成部品との置き換えは不可ですので、くれぐれもご注意ください。

溶接やその他の方法で、リギング部品同士、またはキャビネット固定位置へ部品を永続的に固定することは、禁じられています。リギング部品またはアセンブリは、必ず、キャビネット固定位置で、Turbosound ラウドスピーカー キャビネットにのみ固定してください。

Music Tribe Global Brands Ltd は、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因する、いかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。必ず有資格技術者による定期点検を実施し、システムが安全で安定した状態に保たれていることをご確認ください。製品を吊り設置する場合、製品の下面に人の往来がないことを、くれぐれもよくご確認ください。一般の人の立ち入りや使用が可能な場所に製品を吊り下げないでください。

設置の前に必ず、EASE Focus 3 モデリング ソフトウェアを使用し、エラーや警告がないかどうかをご確認ください。

落下防止装置

劇場、スタジオ、その他の業務用施設・娯楽施設でラウドスピーカーを天吊り設置する際は、必ず、構造負荷に耐えることができる、主となる吊り下げ手段に加えて、独立した、適切な定格の、落下防止装置を、しっかりと取り付ける必要があります。そして必ず、構造および定格荷重が認可された、スチールワイヤーロープまたはスチールチェーンのみを、落下防止装置として使用します。プラスチック被覆付きのスチールワイヤーロープは、落下防止装置には使用不可です。

落下防止装置は、メインの吊り下げ位置から独立し、また単体でシステムの総重量を支えられる必要があります。落下防止装置は、メインの吊り下げ装置が破損した場合に、スピーカーが落下したり揺れたりすることなく、落下防止装置によって吊り下げを継続できるように、取り付ける必要があります。

作業の安全性について

設置手順には、権限を有する 2 人以上の作業者が必要です。

吊り上げ作業計画書の作成：吊り上げ作業を実施する前に必ず、作業手順を正確に記述した、吊り上げ作業計画書を策定してください。

計画書は、吊り上げ作業に関わる全ての作業助手・利害関係者とも共有し、各自が自分の責任について理解できるようにしてください。

リギング部品とラウドスピーカーの各説明ラベルに記載されている指示に、すべて従ってください。

チェーンホイスト（チェーンブロック）を使用する際は、スピーカーの真下や近辺に人がいないことをご確認ください。

圧迫・挟まれ事故の危険がありますので、組み立ての際は常に注意を怠らないでください。

適切な保護服をご着用ください。

安全点検

部品を組み立てフライング設置する前に、リギング システムの部品およびキャビネットに欠陥や損傷の兆しがないか厳重に検査してください。損傷がある／損傷が疑われる部品がある・製品・部品が正常に機能しない恐れがある・安全性に疑いがある、等の場合は、使用を見合わせ、使用中であればすぐに使用を中止してください。

システム要件

MC12-P は、中周波数帯域および高周波数帯域で使用されるパッシブ ネットワークを備えた、バイアンプ 3 ウェイ ラウドスピーカーで、バイアンプ モードでは 2 チャンネルのアンプと DSP が必要です。またフルパッシブモードにも切り替え可能で、その場合は1チャンネルのアンプと DSP が必要です。

Manchester シリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+ およびD シリーズ L プラットフォームで、LAKE プリセットのみを使用します。その他のアンプリファーマーおよび DSP プラットフォームには対応していません。

Manchester シリーズは、LAKE ソフトウェアの最新機能を利用した、強力かつシンプルなプリセットストラテジーを備えています（本クイックスタートガイドで後述）。

プリセットデータは、LAKE LOAD ライブラリーでお探しいただくか、www.turbosound.com よりダウンロードしてください。

Touring アプリケーションに推奨の Lab Gruppen PLM+ モデルは、PLM12k44 および PLM20k44です。

Lab Gruppen D シリーズ L モデルを使用して設置する場合は、Lab Gruppen の「CAFE」ソフトウェア（www.labgruppen.com からダウンロード可能）を使用して、システムに最適なアンプ構成を決めてください。

システム配線要件

アンプの電力浪費を避けるには、最小ワイヤーサイズが 2.5 mm² (14 AWG)、配線が長くなる場合や、キャビネットの入力インピーダンスが 8Ω 未満の場合は、できれば 4 mm² (12 AWG) の、高耐久性スピーカー ケーブルをご使用ください。ケーブルがかなり長くなる場合は、ケーブルの抵抗および抵抗損失にご注意ください。常に極性が正しくなるようご注意ください。

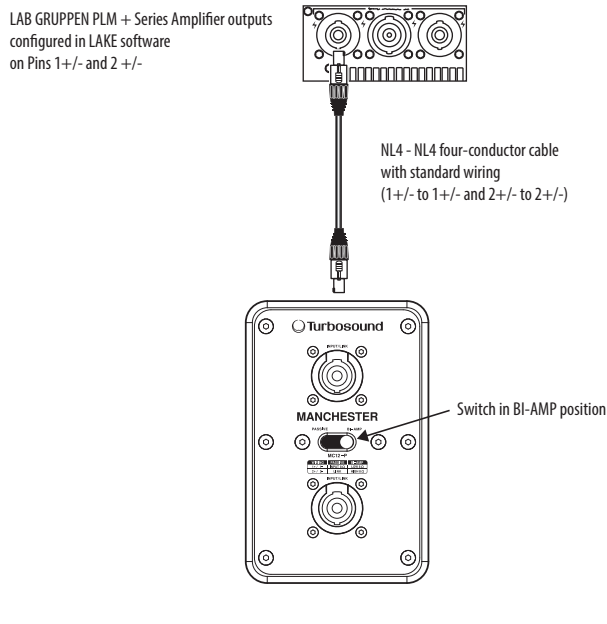
信頼性の高い操作を実現する、純正 NEUTRIK SPEAKON コネクターをご使用ください。

アンプからラウドスピーカー キャビネットにスピーカーケーブルを取り付けて支えも施し、アレイに、入力配線による大きな追加重量および、横方向の力がかからないようにします。 入力ケーブルまたはリンク ケーブルは、アレイの角度を付けるために使用したり、吊り具として使用したりしないでください。

バイアンプモード

注意: MC12-P キャビネットが BI-AMP モードで配線されている場合 (1+/- = LF および 2+/- = MHF)、Lab Gruppen PLM+ アンプの出力パッチングには (LF: 1 +/- MHF: 2 +/-) または (LF: 3 +/- MHF 4+/-) を使用するのが理にかなっています。

リアパネルのスイッチを BI-AMP の位置に動かします。



プロセスドパッシブモード

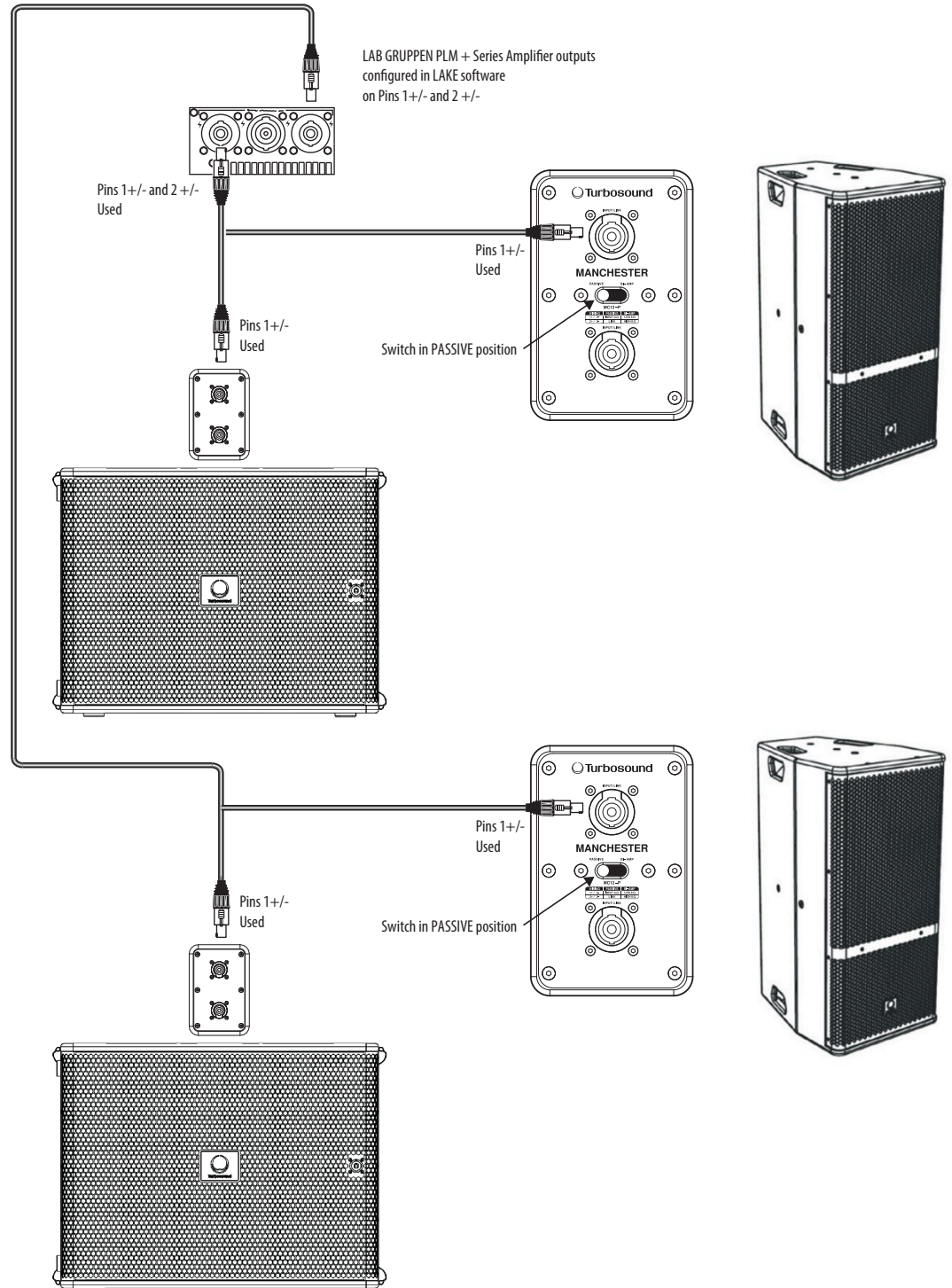
注意: プロセスドパッシブモードの MC12-P キャビネットは配線状態 (1+/- = LF および 2+/- = リンク) であるため、Lab Gruppen PLM+ アンプからの出力パッチは、4 種類 (1、2、3、4 +/-) のいずれかを選択できます。

もう一方のチャンネルの使用方法に応じて (例: MS12-P および MS121 を 2 台ずつ使用したステレオシステム)、下の例のように、“NL4 ~ 2-NL2 ブレイクアウト スプリッターケーブル”をご使用いただくと便利です。

NL4 側でピン1 +/- および ピン2 +/- を使用する場合、両 NL2 側はピン1 +/-に配線します。

注意: この場合、ウーファーに接続されたピン 2 +/- を使用するため、サブウーファー前面の入力端子は使用しないでください。

背面パネルのスイッチの位置を“ PASSIVE”にしてください。



接続

警告: 公式のファクトリー Lake プリセットの使用が必須です。さもないと、MC12-P パッシブクロスオーバーとトランスデューサーの部品が故障する恐れがあります。サードパーティ製の DSP またはアンプには非対応です。

Mode	Back Panel	Connector	Internal Schematic
MC12-P Bi-Amp Mode			
MC12-P Processed Passive Mode			

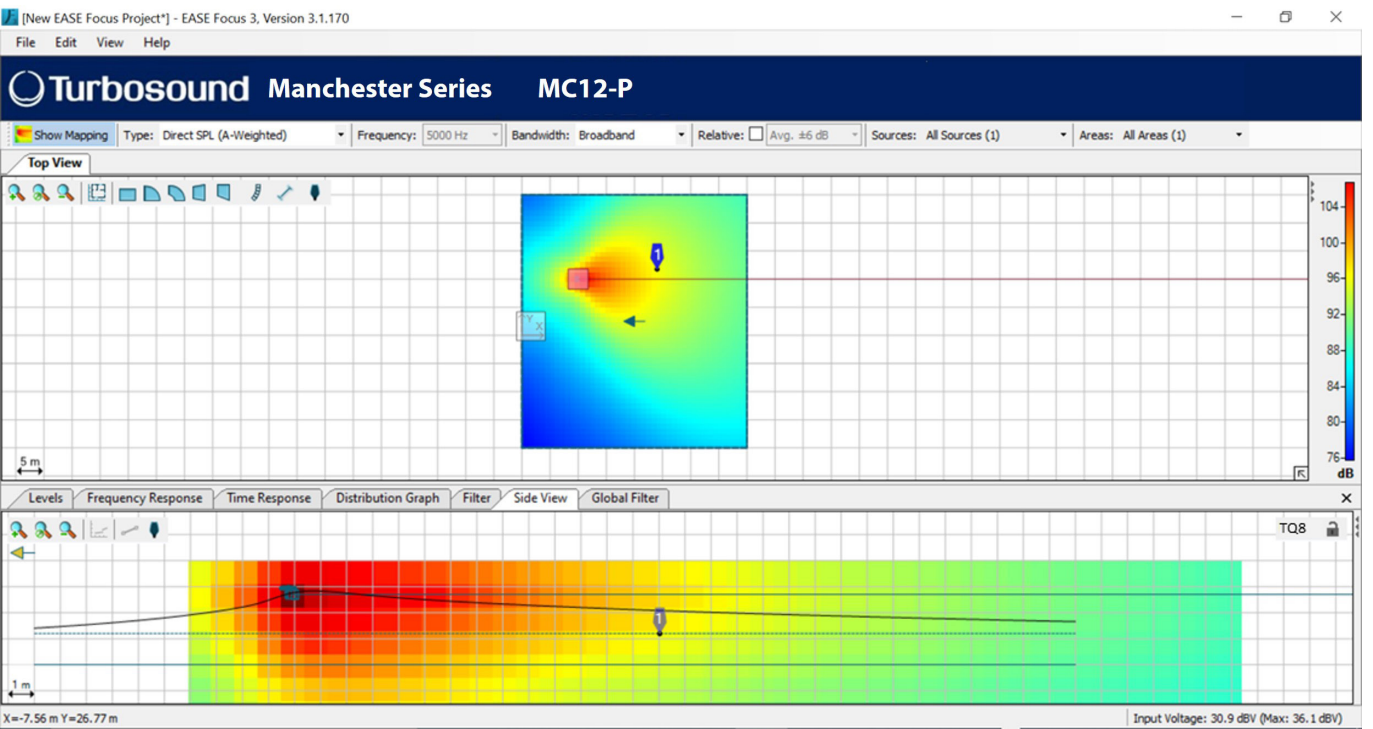
リギングおよび音響シミュレーション ソフトウェア

MC12-P には3 種類の主なリギング アクセサリー、TQ-FB (フライバー)、MC12-YB (ヨーク ブラケット)、MC12-SB (スイベル ブラケット) があります。これらのアクセサリは、BGV-C1 規格に準拠しています。

MC12-P はアレイ可能な製品ではありませんが、Ease Focus 3 では、スタンドアローンでの使用や、Manchester シリーズのサブウーファーとの併用、さらに規模の大きな Manchester シリーズ システムの一部として、スピーカーフィルまたはディレイスピーカーとしての使用に対応しています。

音響シミュレーションプログラム EASE Focus 3 は、<https://www.afmg.eu/en/ease-focus> よりダウンロードいただけます。

Full EASE data can be downloaded from www.turbosound.com
This will allow acoustic prediction, array formation and suspension to be determined. Important safety information about WLL is also calculated by EASE Focus.



MC12-P の設置

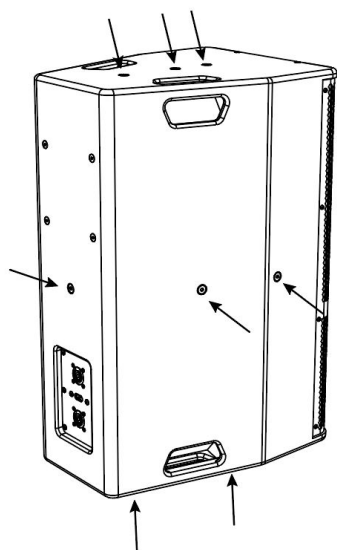
安全性に関する注意: 吊り下げ設置の構成および設計は、必ず有資格の技術者のみがおこなってください。不適切な取り付けをおこなった場合、死亡や回復不能な負傷につながります。

また安全要件を満たすため、落下防止装置の使用が必須です。

汎用性の高いMC12-Pは一体型ポールマウント穴を備えており、M10マウント穴10個には、専用の六角穴付きボルトが付属しています。

オプションアクセサリをご使用いただくと、MC12-Pをさまざまな構成で取り付け可能です。

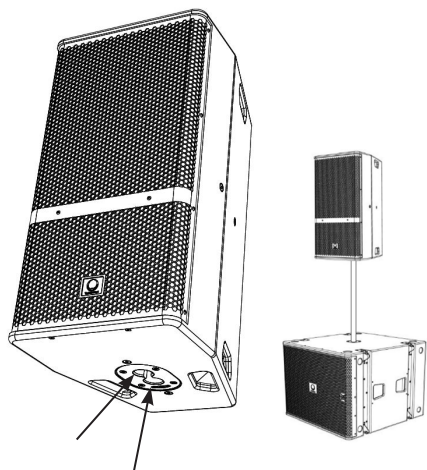
ネジ付きM10 マウント穴



ポールマウント

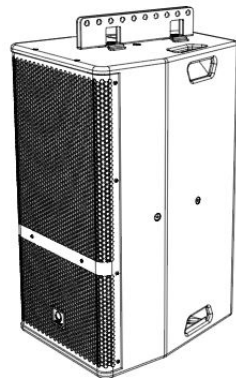
ポールマウント用に、2つの35mm穴があり、1つは垂直に、1つはMC12-Pを前傾でマウントする際に使用します。MC12-PはMS121サブウーファー上や、また適合する三脚にもポールマウント可能です。

ご使用になるポールは、35mm径で下端にM20ネジが付いた製品が推奨です。この型のポールをご使用いただくと、安全性が高く、またMS121サブウーファー上面のソケットにねじ込み可能です。



フライバー TQ-FB

別売りのTQ-FBフライバーで、スピーカーのフライングマウントが可能です。シャックル(U字金具)を取り付けるためのピッキング位置が10箇所あり、MC12-Pの上部にボルトで固定します。

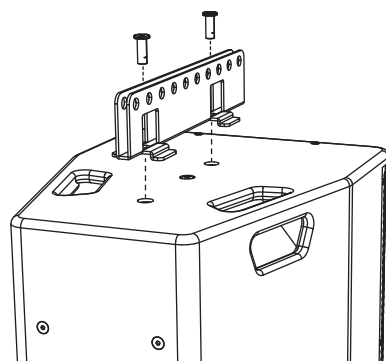
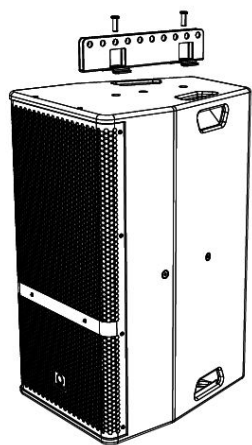
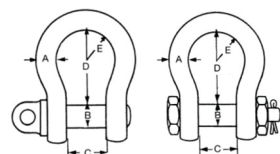


フライバーは、既製のM10ネジ2本を使用し、図のようにMC12-Pスピーカーの上部に取り付けます。両方のネジをしっかりと締めます。

フライバーには、リギング用シャックル(U字金具)のピッキングポイントとして使用する、直径12.5mmの穴が10個空いています。TQ-FBの各レール間のスペースには、MC12-Pを持ち上げるための、標準1トンのパウシャックルを使用できます。

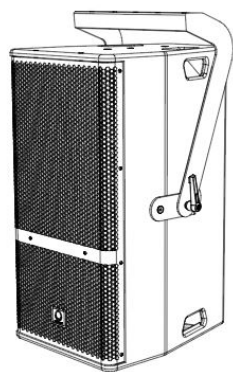
いずれのタイプのシャックルでも機能します:

W.L.L = 1 Ton
A = 10 mm
B = 11 mm
C = 17 mm
D = 36.5 mm



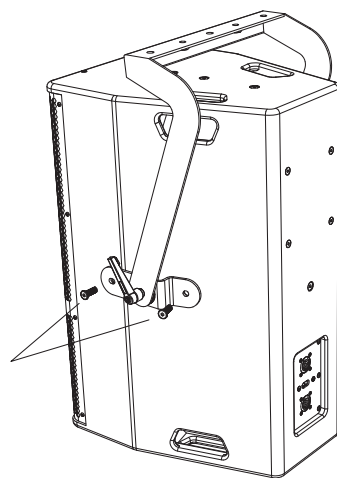
ヨークブラケット MC12-P-YB

別売りのMC12-P-YBヨークブラケットを使用し、適切なフッククランプまたは連結器でフライングトラスに固定して、MC12-Pをフライングマウントできます。両側のラチェットハンドルで、スピーカーの角度を精確に設定し、固定できます。



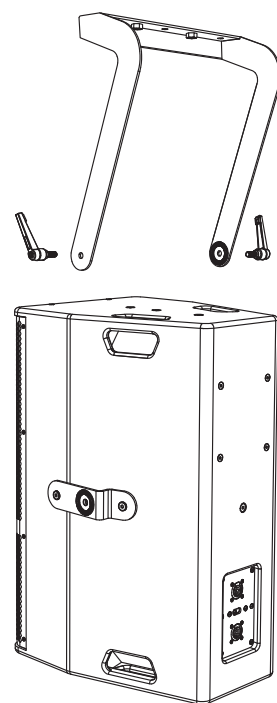
ヨークブラケットは、MC12-P-YBに付属のM10 25mmボルトを片側あたり2本使用して、MC12-Pスピーカーの側面に取り付けます。ヨークブラケットの向きが図と同じになるようご注意ください。

両側のネジをしっかりと締めます。スピーカーの傾きは、まず両側のラチェットハンドルのネジを緩め、スピーカーを希望の角度に傾けていただくことで、精確に調節できます。その後、ハンドルを締めて、スピーカーの位置を固定します。



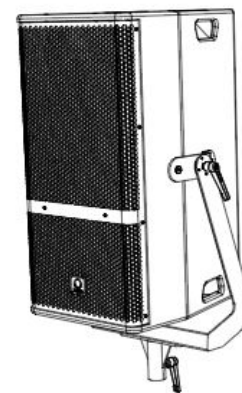
ヨークブラケットを天井や他の面にボルトで設置する場合、まずヨークブラケットを固定してください。

それからサイドブラケットをスピーカーの各側面に取り付け、スピーカーを持ち上げて、ピボットハンドルでヨークブラケットに取り付けます。スピーカーの角度を調節し、ハンドルを締めます。

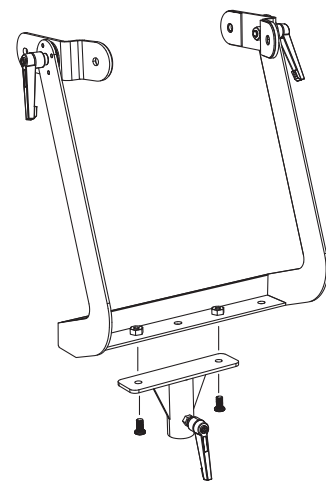


ポールマウント SA-35

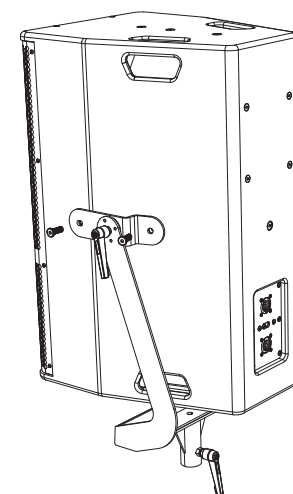
オプションのSA-35ブラケットをヨークブラケットに取り付けることで、MC12-Pが、35mmポールマウントまたは三脚に対応可能になります。



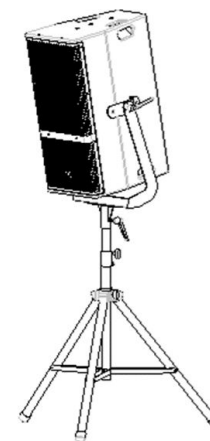
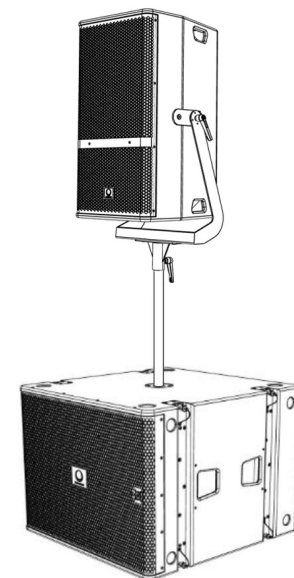
SA-35ブラケットは、ネジを2つ使用してMC12-P-YBヨークブラケットに取り付けます。



SA-35を取り付けたMC12-P-YBを、それまでと同様にスピーカーに取り付けます。図と向きが同じになるようご注意ください。

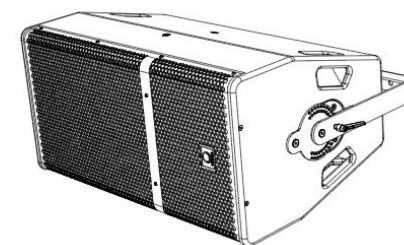


MS121サブウーファーに取り付けた35mmポール、または適合する三脚に、アセンブリを取り付けます。SA-35ラチェットハンドルを締めて、アセンブリをポールまたは三脚に固定します。必要に応じてスピーカーの傾きを調整し、両側のハンドルを締めます。



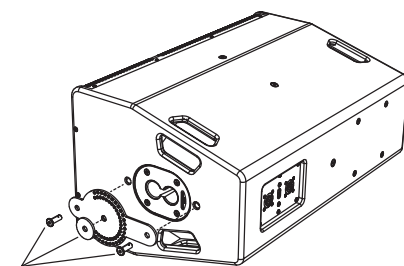
スイベルブラケット MC12-P-SB

別売りのMC12-P-SBスイベルブラケットを使用すると、MC12-Pを天井や壁面に水平に設置でき、また適合するフッククランプのご使用で、トラスマウントすることも可能です。スピーカーの角度を正確に設定し、所定の位置に固定できます。同心円状に空いている2列の穴により、幅広い角度調整が可能で、クランプ/ハンドルネジで所定位置に固定できます。

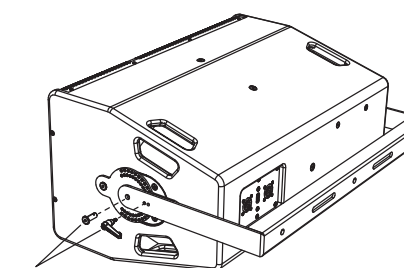


スイベルブラケットを天井等の面にボルト設置する場合、まずブラケットを固定します。

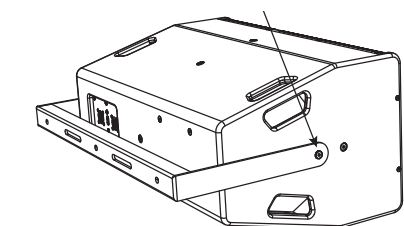
MC12-P-SBを取り付けるには、スピーカー底面に既製のM10ネジで大きなプレートを取り付けます。図のように、ポールマウント穴を覆います。



大きなワッシャーを中心に置き、スイベルブラケットを設置して中央ネジで固定します。スピーカーを任意の角度にセットし、ハンドルネジを差し込んで締めます。



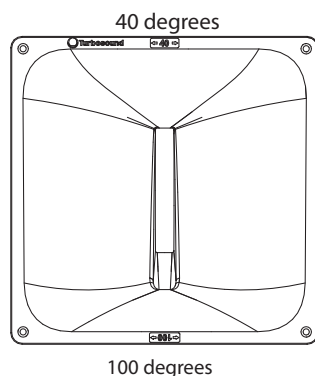
図のように、スイベルブラケットのもう一方の端を既製のM10取り付けネジで固定します。そこにも大きなワッシャーがあります。



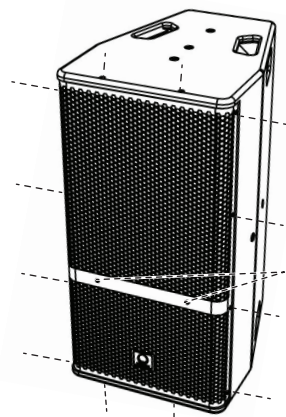
ホーンの回転

MF/HF ホーンのアセンブリは非対称で、上部で 40° の水平ビーム幅、下部で 100° のビーム幅となっています (これは MC12-P を垂直にマウントした場合の、工場出荷時設定の向きです)。

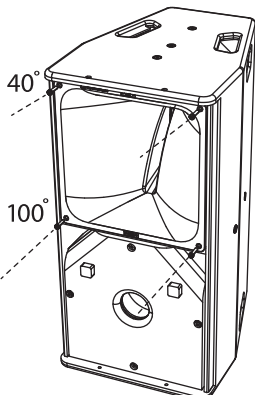
ホーンアセンブリは、任意の構成およびカバレッジに合わせて、取り外して別の向きに再取り付けできます。ホーンの前面には、ビーム幅の角度が記されています。



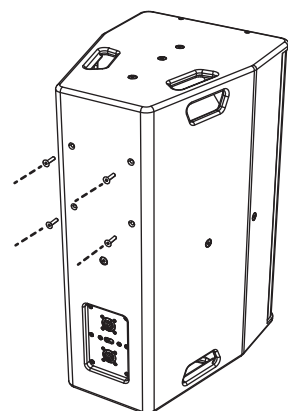
14 本のネジを外し、フロントグリルを取り外します (上面、下面および側面に加え、グリル前面にもネジが2本ありますのでご注意ください)。



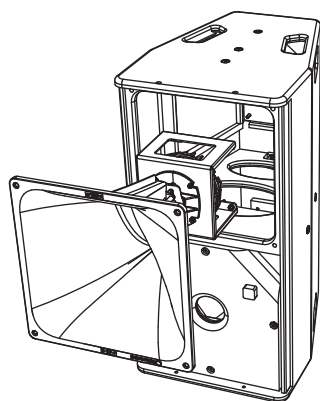
ホーンアセンブリの各隅のネジを取り外します。



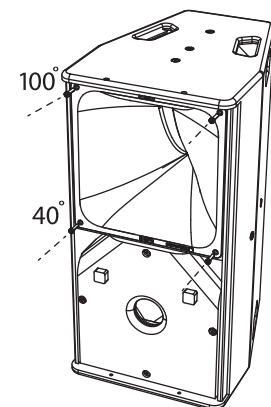
スピーカー背面にある 4 つのネジを取り外します。



ホーンアセンブリを、アセンブリを目的の向きに回転できる程度に、慎重に前方に引き出します (この図は誇張気味に描かれています)。

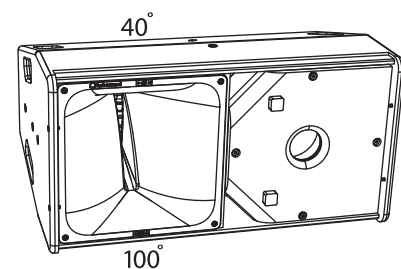


ホーンを再度、前面 4 本、背面 4 本のネジで取り付けます。配線に損傷がないこと、またどこかに挟まれていないことを確認します。



グリルを再度取り付け、すべてのネジで固定します (スピーカーに加えた変更をメモに残しておいてください)。

スピーカーを横向きで使用する場合、ホーンを回転させ、40° の印が上に来るようにしてください (これは、ホーンの回転を要する一般的な例です)。



Lake プリセット オーバーレイおよび アプリケーションノート

Manchester シリーズのラウドスピーカーはすべて、Lab Gruppen PLM+ および D シリーズ L プラットフォームで Lake XP プリセットのみを使用します。他のアンプリファアーおよび DSP プラットフォームには非対応です。

Manchester シリーズは Lake ソフトウェアの最新機能を活用したパワフルかつシンプルなプリセットストラテジーを持ち、長いアレイや有効距離に対応するための、新たな音響補正オーバーレイも備えています。

プリセットデータは、Lake Load Library をご利用いただくか、www.turbosound.com よりダウンロードしてください。

MV212、MV212-XV、MV210-HC および MC12-P の各ラウドスピーカーには、個別の Bi-AMP FIR ベースプリセットがあります: MS サブウーファーの有無にかかわらず、フルレンジとなっています。

MC12-P にもバイアンプモード (2 チャンネル DSP/AMP) とパッシブモード (1 チャンネル DSP/AMP) があります。

警告: MV212 / MV212XV / MV210-HC / MC12-P ラウドスピーカーを同一のアンプリファアー / DSP 回路と組み合わせないでください。さもないと機器が損傷する恐れがあります。

警告: 出力のパッチングには細心の注意を払ってください。

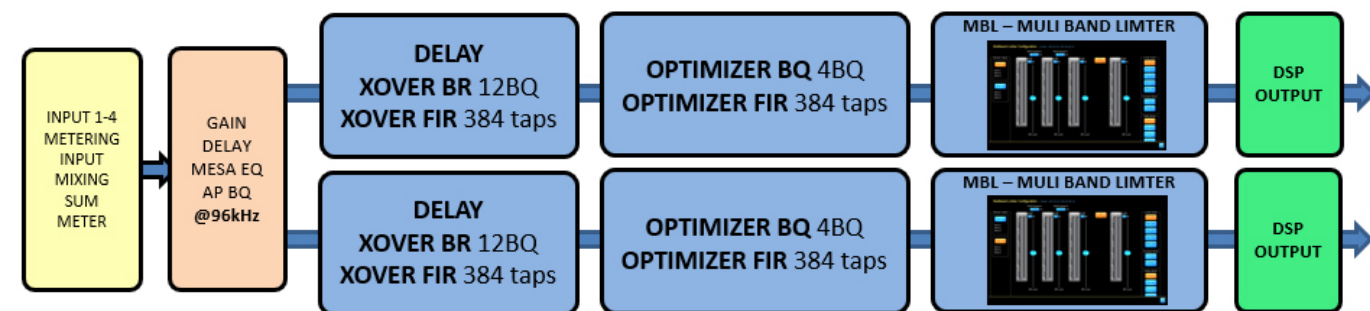
MV212、MV212-XV、MV210-HC、MC12-P、およびMSサブウーファーモジュールは、Lake ソフトウェアのXPモジュールに基づいています。

本クイックスタートガイドでは、REV2.1 XPプリセットを参照しています。

警告: REV1.1 (旧「FIR3way」モジュール) および REV2.1 XP モジュールは、同じシステムでは非互換です。

必ず、Lake ソフトウェア V7.0.7 以降をご使用ください。

Lake XP signal flow:



Lake Controller のダウンロードには、Lake Controller 操作マニュアルが付属します。これは、Lake Controller および、PLM+ シリーズアンプリファアーなどの互換ハードウェアのフルチュートリアルとなっています。

本クイックスタートガイドでは、Lake Controller の基本的な操作知識があることを前提とし、Turbosound Manchester シリーズのワークフローおよびプリセットストラテジーに焦点を当てています。

DESCRIPTION	OVERLAY
1.1: フレーム (アンプリファァー) は「Main」ワークスペースページにあります。 この図は PLM12k44 の、DSP プリセットモジュールを読み込んでいない初期フレームです。	
モジュールをLake Load Library から読み込むには: フレーム内の「Module A」を左クリックします。 Module A の輪郭が黄色になり、ワークスペース下面のボタンに、複数のモジュールオプションが表示されます。ここに「Modules」ボタンもハイライト表示されています。	
モジュールを読み込むには: 「Module Store/Recall (モジュールの保存 / 呼び出し)」ボタンをクリックします。	

DESCRIPTION	OVERLAY
フォルダが表示され、読み込むモジュール (プリセット) の参照元を選択可能になります。 「Lake Load Library 5.5」フォルダをダブルクリックします。	
矢印キー (>> <<) でスクロールし、「Suitable for Turbosound Loudspeakers (Turbosound ラウドスピーカー用)」フォルダを探し出し、ダブルクリックして開きます。	
再度、矢印キー (>> <<) でスクロールして「Manchester REV2.1 XP」フォルダを探し、ダブルクリックして開きます。 警告: 「Manchester」フォルダは開かないでください。このフォルダには、2022 年 10 月に REV2.1 XP に置き換えられた、旧モジュール REV1.1 FIR3way が含まれているためです。本クイックスタートガイドで解説しているのは、REV2.1 XP モジュールのみですのでご注意ください。	

DESCRIPTION

3つのフォルダが表示されます。「Modules」をダブルクリックします。

警告: 「Array Size Comp」および「Distance EQ」は開かないでください。これらはManchesterシリーズの別のスピーカーのためのEQオーバーレイです。

OVERLAY

DESCRIPTION

利用可能なモジュールフォルダが表示されます。

Manchester MC12-Pには2つのオプション、PASSIVEとBI-AMPがあります。

いずれかを左クリックすると、モジュールのセットアップに関する詳細が表示されます。こちらは、PASSIVEを選択した場合の画面です。

ヒント: 表示された情報をお読みくださるようお願いいたします。

OVERLAY

DESCRIPTION

任意のモジュールのフォルダをダブルクリックすると、フレーム (アンプリファア) の、ハイライト表示されているモジュールに、モジュールプリセットを開きます。

OVERLAY

DESCRIPTION

「YES」を押して進みます- 選択したプリセットが読み込まれました!

OVERLAY

DESCRIPTION

出力構成:

これで、DSP モジュール出力を、フレームのアンプリファア出力にパッチ可能になりました。

フルレンジの「PASSIVE」モード (図示) では、ピン1へフルレンジが必要です。パッチは、黄色い枠と赤色の文字でハイライト表示されます。

「BI-AMP」モードでは、Low をピン 1 に、High をピン 2 に設定します。パッチは黄色の枠と赤色の文字でハイライト表示されます。

出力パッチを適切に完了したら、Enter キーを押して出力構成画面を閉じます。

注意: 他のプリセット モジュールを無料の C & D モジュールに同じ手順で読み込むか、または IO オプション ボタンを使用して、この画面にアクセスできます。

プリセット モジュールの呼び出しおよび A/B ハードウェア モジュールへの読み込みが確認できます。

プリセット モジュールの呼び出しおよび A / B ハードウェア モジュールへの読み込みが確認できます。

OVERLAY

DESCRIPTION

注意: 2 ウェイ「BI-AMP」モードでは、2チャンネルの DSP およびアンプが必要です。

OVERLAY

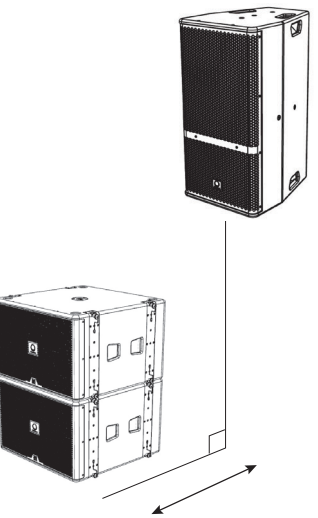

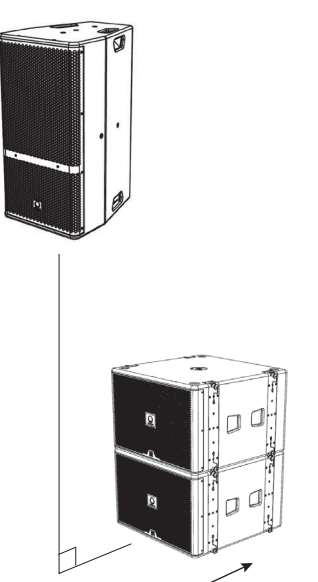

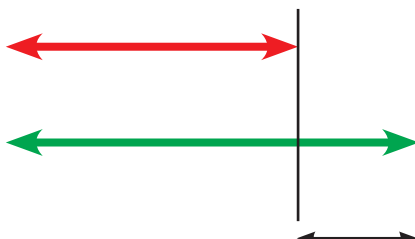
DESCRIPTION

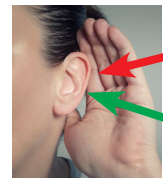
1 ウェイ「パッシブ」モード (フルレンジ) で必要なのは、1チャンネルのみの DSP とアンプです。

OVERLAY

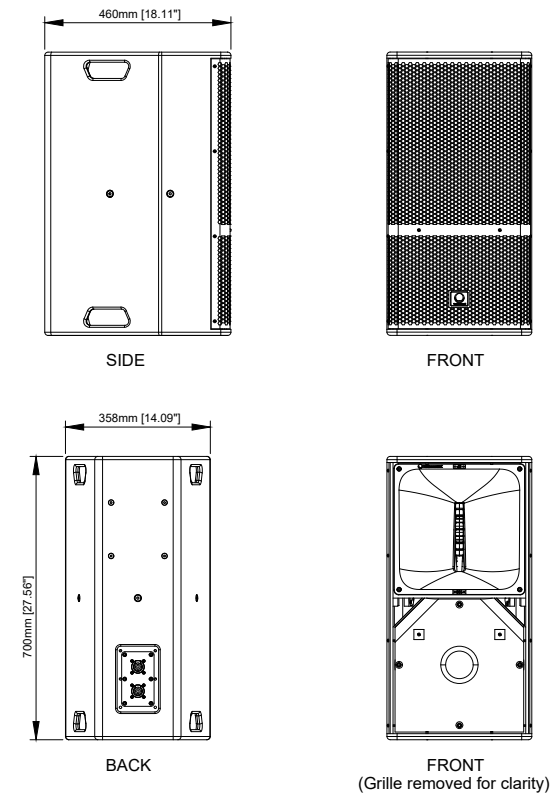
EQ STRATEGY	ILLUSTRATION
<p>MC12-P のモジュールの両オプション (1 W PASSIVE および 2W BI-AMP) には、3 バンド EQ (BLEQ) が差し込まれています。</p> <p>BLEQ は LF/MF/HF のレベル コントロールとして機能し、BLEQ の 3 つの中心周波数は、LF/MF/HF のクロスオーバー ポイントと関連します。</p> <p>LF と MHF のレベルコントロールは、最適な位相応答を保持するため無効になっているので、ユーザーは BLEQ で、PEQ オーバーレイおよびグループ オーバーレイ (システム設計により異なります) と併せて、システムのトーンバランスを調節できるようになっています。</p>	
<p>BLEQ の使用例</p> <p>3 バンド EQ</p> <p>LF を 1 dBカット</p> <p>HF を 1 dB ブースト</p>	
<p>3 バンド EQ</p> <p>LF を 3 dB ブースト</p>	

EQ STRATEGY	ILLUSTRATION
<p>3 バンド EQ</p> <p>HF を1 dB ブースト</p>	
<p>注意: もう一方のオーバーレイから、3 バンド EQ (BLEQ) でおこなった変更を確認できます - この例は、PEQ1 のオーバーレイで、LF が 3 dB ブーストされた状態です。</p>	
<p>この例は、BLEQ で作成したEQポイントを図示しています。</p>	

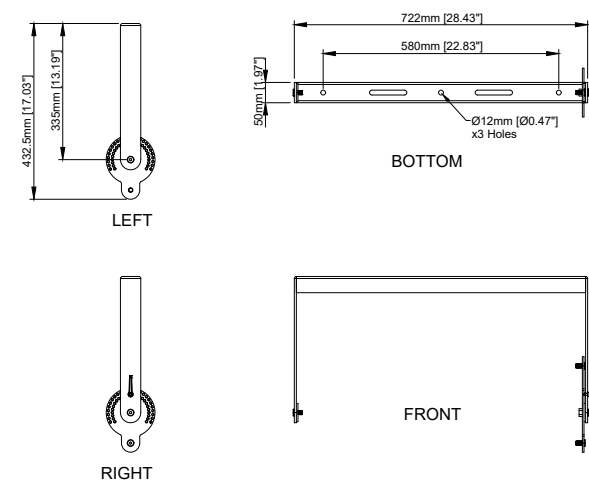
SUBWOOFER TIME ALIGNMENT	ILLUSTRATION	OVERLAY
<p>MS121サブウーファーのプリセットは、オールパスフィルターを使用し、初期タイム アライメントを設定します (キャビネットの前面が一列に並んでいると仮定)。これにより、システムのレイテンシーが大きく低減されます。</p> <p>例: MC12-P と MS121 の前面が整列している場合、両プリセットで遅延をデフォルトの 0ms に設定する必要があります。</p> <p>ただし、フライング スピーカーとグラウンド スタック ベースを垂直面に揃えることが常に可能であるとは限りません。</p> <p>1. この例では、MS121 サブウーファーは MC12-P の「前方」に位置しているため、MS121 サブウーファーを遅延させる必要があります。</p>	<p>1. Subs are forward</p> 	 <p>Delay adjustment of subwoofers</p>
<p>2. この例では、フライング設置した MC12-P は、MS121 グランドスタック型サブウーファーの「前方」に位置するため、MC12-P を遅延させる必要があります。</p> <p>フライング設置したスピーカーを、グラウンドスタックしたベースに合わせるための、適切な遅延時間を算出するには、どうしたら良いでしょうか？</p> <p>ディレイユニットの基礎知識があれば、フライング設置したスピーカーと、グラウンドスタックしたアレイの前面との距離を測定することで、好ましい結果を得られます。Lake ソフトウェアでディレイユニットを選択できますので (ms、m、またはfeet)、ご注意ください。</p> <p>1 ms (ミリ秒) = 0.343 m (メートル) = 1.125 ft (フィート)</p> <p>さらなる微調整は、多数の業界標準の測定ソフトウェア システム、リファレンス マイクロフォン、およびサウンドカードのいずれかを使用してこなうことができます。Lake ソフトウェアをご使用いただくと、こういったソフトウェア システムの多くを統合できます。詳しくは www.labgruppen.com をご参照ください。</p>	<p>2. Flown MC12-P is forward</p> 	 <p>Delay adjustment of MC12-P</p>  <p>距離 (時間) は、聴取地点での位置合わせのため、フライングアレイに追加する差分です。</p>



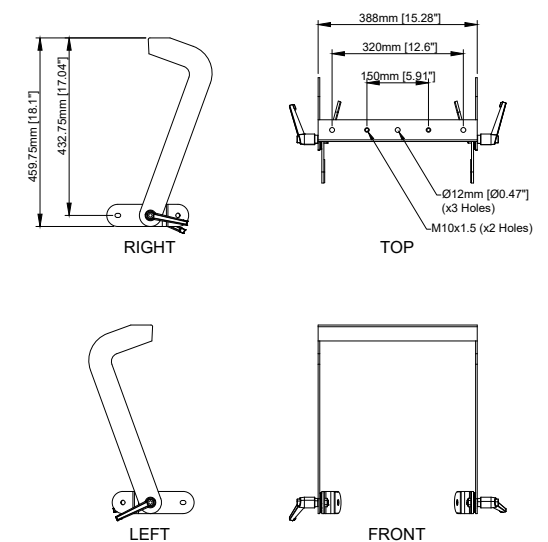
Dimensions MC12-P



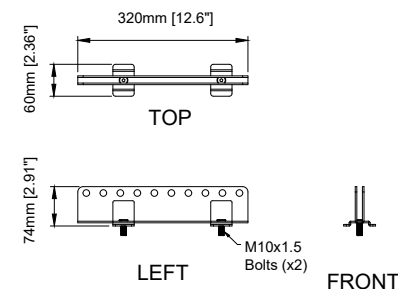
MC12-P-SB



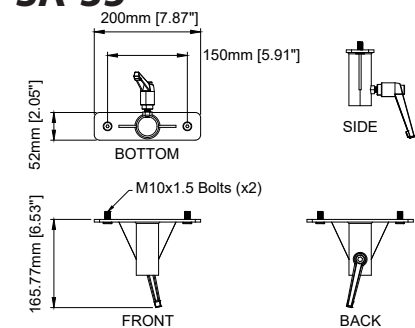
MC12-P-YB



TQ-FB



SA-35



技術仕様

MC12-P	
制	
周波数応答 (±3 dB) ¹	55 Hz - 20 kHz
周波数応答 (-10 dB) ¹	39 Hz - 20 kHz
公称分散	40-100 度非対称 (H) x 30 度 (V)
パワーハンドリング (IEC)	LF: 500 W 連続
	MHF: 190 W 連続
	FR: 690 W 連続
感度	LF: 101 dB (1 W @ 1 m) ²
	MHF: 114.5 dB (1 W @ 1 m) ²
最大 SPL	138 dB (パッシブモード) /140 dB (バイアンプモード) ³
インピーダンス	LF: 8 Ω / MHF: 12 Ω
	FR: 8 Ω
クロスオーバータイプ	外部バイアンプと内部パッシブ
コンポーネント	1 x 12 インチ (315 mm) LF ドライバー
	1 x 1.4インチ (35 mm) 出口、大判デュアルコンプレッションドライバー
IPレーティング	54
紫外線評価	4-5
困	
コネクタ	2 x speakON NLT4MP STX
配線	バイアンプモード:ピン 1+ / 1- LF、ピン2+ / 2- HF パッシブモード:ピン 1+ / 1- 入力、ピン 2+ / 2- リンク
寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	700 x 358 x 460 mm (27.6 x 24 x 18.1インチ)
正味重量	28.5 kg (62.8 ポンド)
建設	15 mm (エンクロージャ)および 18 mm (前面) マリンバーチ合板、通気性および内部ブレース付き
終える	ポリウレタンブラック、ご要望に応じてカスタムカラー
グリル	粉体塗装穴あき鋼
フライングハードウェア	一体型サスペンションシステムと M10 x 12 ポイント専用のヨーク、スイベル、フライバーアクセサリー付き
小物	
ヨークブラケット	MC12-P-YB
ボールマウントブラケット	SA-35
スイベルブラケット	MC12-P-SB
フライバー	TQ-FB

注意事項 1. 指定された帯域幅の平均。軸上で1メートルで測定。
2. 自由音場条件下で 1m の SPL レベル、クレストファクター 4 のピンクノイズを使用し、専用のプリセットを使用します。
3. オーバーラップ帯域幅の平均ピークレベル。専用のプリセットで軸上で1メートルで測定されます。
4. クレストファクター 4 のピンクノイズを使用したハーフスペース条件下での 1m のピークレベル、専用のプリセット付き。
イズデータは www.turbosound.com からダウンロードできます

その他の重要な情報

JPその他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

